R1.11.30 第5回 函館市医療・介護連携多職種研修会
アンケート集計結果 分析

n ＝ 209（回収率 68．07%）

1．所属機関をお聞かせください。

・病院	44	(21.1%)
・診療所	2	(1.0%)
・歯科診療所	3	(1.4%)
・薬局	14	(6.7%)
・地域包括支援センター	22	(10.5%)
・居宅介護支援事業所	32	(15.3%)
・介護保険事業所	47	(22.5%)
・その他	45	(21.5%)

2．職種をお聞かせください。（複数回答可）

・医師	3	(1.4%)	・栄養士	1	(0.5%)
・歯科医師	2	(1.0%)	・柔道整復師	3	(1.4%)
・薬剤師	13	(6.2%)	・鍼灸師・マッサージ師	12	(5.7%)
・保健師	6	(2.9%)	・介護支援専門員	55	(26.3%)
・看護師	37	(17.7%)	・相談員	32	(15.3%)
・リハビリスタッフ	6	(2.9%)	・事務員	7	(3.3%)
・歯科衛生士	10	(4.8%)	・その他	30	(14.4%)

3．開催日時（土曜日の午後）はいかがですか？

・良い	158	(75.6%)
・どちらともいえない	47	(22.5%)
・良くない	4	(1.9%)

【ご意見等】

- 土曜日午後は業務量やや少なく参加しやすいです。
- 開始時間をもう少し遅らせてほしい。
- 今日の場所のように電車から近いところでの開催だと助かります。
- 懇親会に出席するので土曜日でもいいです。
- 曜日や時間は良いですが，月末でなければ尚参加しやすいかなと思います。
- もっとあったか～い時期が好きです。
- 医療関係者が参加しやすい日時で良いと思います。
- １２月だと忙しいので１１月は良いと思う。
- できれば平日にお願いしたい。
- 休日に参加すること。
- 土曜日の午後で良いですが，薬局の薬剤師は１５時スタートだとありがたいです。
- 出来れば午前を希望。
- 仕事柄もう少し遅いスタートだとすべてに参加できたのにと残念です。
- 日中の研修であれば平日より土曜日の方が出席しやすい。平日の夕方は仕事で出席できないことが多い。

4. 研修会を受講し，ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	189	(90.4%)
・どちらともいえない	20	(9.6%)
・あまり深まらなかった	0	(0.0%)

【ご意見等】

- 「看取り」は看取り前の段階から誰もに関わりのあることだと思いました。生きている誰もが自分の「死」について考えていくべきだと思います。
- 多職種の考え方が参考になりました。
- 看取りの経験がなかったので，看取りの調整の大変さが分かった。
- 多職種，他職種の方との交流が少ないので，色々な意見が聞くことができ良い場となった。
- 普段関わりの少ない職種の方との意見を交換し，専門職の視点，それぞれを学ぶことができました。
- 様々な現場の看取りの現状がわかり有意義でした。ありがとうございました。
- 施設，在宅，病院での看取りの違いが聞け，大変参考になりました。前回（昨年）のシンポジウムとはまた違って良かったです。
- GWでの訪看さんの意見はとても参考になりました。
- それぞれの立場での看取りのかかわりの実際や思いを聞くことができて良かったです。
- まだまだ足りない。繰り返し参加し，理解を深めたい。
- 人生の最期について事前に考える事の大切さは理解できて，連携することの大切さはわかったが，看取りの実際について考えが深まったとは思えなかった。
- 看取りに関わる方の工夫や葛藤などを知り，より理解が深まりました。誰にでも平等に訪れる死というものが普段は全く意識していなかったことがわかり，今後の支援において今回の研修を参考にさせて頂きたいと思います。
- 多職種の多様な考え方を知れて良い。
- 看取りだけではなく，医療・介護についての知識を沢山の職種で共有していけたらいいと思いました。
- 多職種の人との意見がいろいろ聞けて良かった。
- 他の職種の考え方が聞けて参考になりました。
- 自分の施設以外の話を聞けるのは，貴重でとてもためになった。気持ちをゼロに戻すことができるので，とても新鮮だった。
- 出席して良かったです。
- 在宅への訪問について看護事業所の方の話が自分の意識と違いとても勉強になった。
- もっといろいろな人の意見を聞きたかった。
- 看取りを支える側の支える仕組み（つながり）を考えることが大切だと思った。グリーフケアやデスカンファも大切だと思った。
- ヘルパーさんが普段抱えている不安や悩みを具体的に知り，今後の連携に活かしていけると思った。
- 看取りの実際のテーマで期待していたが，もっと踏み込んだもの（事例を含めて）が聞きたかった。病院はまた別の感動があった。
- 病棟Nsケース発表では，貴重なお話が聞けて良かったです。どう生きるかと同じくどう死を迎えるか考えることがすべての世代で必要なことだと思いました。
- 職種や施設の形態の違いによって様々な見方があることを確認できました。
- 誰のための看取りなのか。家族の意志が強いような気がします。
- 仕事の関係であまり理解できませんでした。大変そうなのはわかりました。

5．今回のような介護関係者向けの研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	201	(96.2%)
・どちらともいえない	8	(3.8%)
・続けなくてもよい	0	(0.0%)

【ご意見等】

- 規模は小さくても良いので研修会の回数がまだ多くあればと思います。(例：施設をメインにした研修。在宅をメインにした研修。)
- これから看取りをしてほしいと要望されるご本人やご家族が増えると思います。様々なケースがあると思うので，事例で学ぶ機会があるといいと思います。
- 今後このような研修会を定期的に続けてほしいと思いました。
- このような多職種がたくさん集まる会はないと思いますのでこれからもぜひ続けてほしいです。
- 続けることに意義があると思う。
- 年に3回ぐらいあるともっと良い。
- 多職種の方々とこんなに大勢で話す機会が無いので。
- 自分たちの職種ではなじみのない事柄を勉強するよいチャンスだと思う。ほかの職種の考え方などを知ることができる。
- 1つのテーマについて多職種の意見を聞き，知ることの大切さを感じました。ありがとうございました。
- 医療介護多職種による研修は今後も継続してほしい。各立場により，情報がまだまだ少ないし，情報共有の機会は必要と思う。
- 大変ためになる。
- 院外に出てお話を聞けることは貴重。
- ぜひお願いします。
- 医療・介護の共同研修は非常にためになります。
- 自分の勉強不足な部分があり，グループワークにうまく意見を出すことができなかった。次回以降に向けて課題となったため。
- 普段直接連携することの少ない職種と意見交換できる良い機会と思います。
- 普段，関わることのない職種のケアの実際や意見が聞けてとても勉強になった。
- 他職種間での情報共有ができるので良かった。
- 病院，病気，疾患ごとの状態の変化等は介護職は学ぶ機会が少ないと思うのでよい学びの場になると思います。
- 市外の方にもお声をかけていただきありがとうございます。
- いろんな方と交流していきたいと思っています。
- 色々な立場，職種の方とお話しできることがとても参考になります。

6．今後，どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

※別紙をご覧ください。

7．その他，ご意見等ございましたらお書きください。

※別紙をご覧ください。

６．今後，どのような内容の研修会を希望されますか。

- 多職種連携についてこのような研修の場を増やしてほしい。
- 介護や医療に携わる方のメンタルケアについて。
- デスカンファレンスの在り方について勉強していきたいです。
- 医療関係，在宅診療，訪問看護，他職種連携の現実，看取り。
- 初めてなので今までのは不明ですが続けてほしい。
- 医療と介護の連携。特に透析，インスリン，O_2，褥瘡，CVなどの医療処置を多く伴う方への連携。
- 医療職と介護職が連携して看取りを行った事例があったらお聞きしたい。
- GWはあった方が良いです。
- 精神科医療との連携に関する研修。（精神疾患が疑われるが，本人の拒否等で医療につなげるのが難しい方への対応について等）
- 「看取り」が続いたので次回は違うテーマが良いです。
- 様々な職種の仕事の概要が聞けたらと思います。
- 同じような内容で継続しても良いかなと思います。
- 同様のテーマで様々なケースについて共有，意見交換していくことが大切。
- 認知症に関する研修会をお願いいたします。
- 在宅訪問での困難事例に対する対応方法。
- 障害と高齢の連携をテーマに考えていただけると嬉しいです。
- みんなで集まれる。話せる。今回のような会。
- このような他事業所の経験談を伺える機会が在れば良いと感じます。
- グループワークは継続した方がよい。
- 多職種連携事例の検討。
- 同じテーマでまた同じような話し合いを。繰り返すことで見えてくると思うので。
- 在宅生活を実際に支えている多職種連携事例を見せてください。
- 多職種との交流機会を設けていただけるとありがたいです。
- このような研修を続けてほしい。
- 認知症に関する研修会をお願いいたします。
- 事例を通じて実際に支援に進める際の質問等をし合える研修会を開催してほしい。
- 今回の多職種のグループワークはいいね。
- ヘルパーサービスについて。支援に伴いご家族との関係づくりについて。
- 今回のような研修会。
- 同じ職種の人から他の地域，ところはどうしているかも聞いてみたい。（グループワークで）
- 多職種との連携が大切ということを実感しました。このような機会が増えてくれるといいなと思います。
- 財源，運営，行政との関係での問題。
- 患者さん個人の問題よりも，家族に問題があるケースが増えているように感じます。（仕事をしない，親に頼る子供や診断無いも発達障害のような状況）家族支援に関わる研修会はどうか。身寄りのない疎遠の方への支援を皆でどう支えるのか。
- 在宅で看取る際，ドクターや看護師さんのご苦労・ご苦悩。
- AI，SNSを利用した連携。
- 実際の医療介護の小エリアで顔の見える連携の研修会。
- 認知症の診断，治療，対応等。
- 医・介連携ツールを活用した事例検討（GW）。
- 医療との顔つなぎの場がほしい。小規模で。
- 認知症の方に向けた連携支援。
- 同じメンバーでもう一度話し合うとか関係が深められる機会があればいい。
- ST，PT，OTのお話が聞きたいです。
- やっぱり多職種連携。

- 在宅におけるスキンケアの実際。褥瘡や潰瘍など医療機関との連携。軟膏，洗浄，保護の仕方で悩んでいてもすぐに受診できる環境になく，悩むことが多い。（医師やWOCとの連携）。在宅においての多職種での困りごと。
- 今回の発表で出た皆さんが苦労している内容についての研修会。
- ACP関連。危機的介入について（虐待，DV，依存症など）。
- 地域で認知症（精神疾患）の方を支えることなど。グループワークで話し合いたいと思います。
- 多職種の方々の心の声みたいなものも知ってみたい。
- 医療職がもっと多く参加する本日のような研修。いずれはICTについて。
- 身体拘束についての研修。
- 仕事につながる研修会や知識向上になる勉強会。自己の意識（職員の意識）を高める研修会があればいいと思います。例えば，仕事に対する責任感を多職種では職員にどうもたせているのかなど。
- 各専門職の価値観や倫理観とズレはどう解消すべきか。
- 各施設の仕事の内容を知りたいです。
- 看取りについてご家族様の話も聞いてみたいと思います。
- おまかせ。

7. その他，ご意見等

- 昨年も「看取り」がテーマだったと記憶しているのですが・・・。同じテーマでも視点を変えたグループワークやシンポジストからの提供があるといいなと思いました。看取りへの課題（医療，家族がいない，サービスの不足など）とかについて話し合うとか。
- 多職種の方の意見を沢山聞くことができ勉強になりました。シンポジストさん達の講義から知らなかったことを沢山知ることができ，勉強になりました。
- グループディスカッションで様々な気付きを得られるとともに自分自身の看取りの支援に関わった振り返りとなりました。
- 函病さんの話が聞けたのはめずらしいと思った。
- ヘルパーさんへの医療知識を与えるような，あるいは連携強化できる会。
- 多職種からの話を聞く機会があまり持てていないので施設の外（在宅や病院）では考え方や感じ方が違う部分も多いのだと気づけました。その分同じように考えている部分もいくつかあって職種は違うけどとても安心しました。
- それぞれの職種や職場の違いでスタンスが違うことがわかり，とてもそれぞれの方々のご意見が参考になりました。シンポジスト，ファシリテーターの方や医療・介護連携支援センターの皆様にはこの研修会のご準備，開会してくださり感謝しております。ありがとうございました。
- ケアマネ資格のある方が聴講席に多数いた一方で，GWのテーブルには過去にもGWに参加したであろう方もいました。より多くの方がつながりを持てるよう，GWに参加したことがないケアマネを優先的にGWに入れてはどうでしょうか。
- とても良い時間を過ごせました。ありがとうございます。
- このような大規模研修を開催するのは運営側の皆様は本当に大変だったと思います。とても良い会で参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。シンポジストの皆様も本当に参考になる内容で良かったです。また今までは終の棲家は自宅でと思っていましたが今回南部さんの話を聞いて施設も良いなと思いました。
- 看取りについては在宅で関わるスタッフだけではなく，病院で看取る看護師，医師も様々な不安，苦悩を抱えていると感じ，振り返ることで気持ちの整理ができたり，学んだ事を整理できたり，他者から意見をもらうことで新たな気付きや学びも得られたり，こんなに大勢の職種の学びの場にできる事は素晴らしいことだと感じた。ありがとうございました。
- ３人のシンポジストの発表に感動しました。資料作りお疲れさまでした。
- 普段関わることがあまりない方たちと話をする機会があってとても良かったです。
- ありがとうございました。
- 在宅，施設のお看取りについて勉強させていただきました。ありがとうございます。
- AYA世代の在宅サービスの必要性。若い子たちも家で過ごせるように。
- 入り口前で構いません。お茶などを購入できると助かります。売店が大混雑でした。
- 今まで関わった患者さん，担当のケアマネさんや看護師さんに会ってその後の様子を聞ける機会にもなり，このような研修会はありがたいです。お疲れ様です。
- グループワークの時間が短かったのでもう少しあっても良かったかも。
- 多職種が集まりそれぞれの意見や思いが聞けて良かった。
- 準備された皆様，本当にお疲れさまでした。素晴らしいと思います「函館」。
- ヘルパーさんの出席者が少なく残念です。
- 研修会というよりは，多職種の人と顔見知りになる，それぞれの現状を知るといった機会がもてたらいいと思う。
- 毎年必ず開催してください。可能な限り参加します。同級生と15年ぶりにあったり新たなつながりができました。
- とても勉強になりました。
- 多職種のご意見を聞くことができてとても勉強になりました。看取りについてたくさんの方と話していきたいと思いました。

- 多職種で様々な話ができる機会を今後も多く設けていきたいです。
- グループワークの時間をもう少し長く設定してほしいです。
- 看取りについてグループワークをして多職種の意見を聞くことができた。シンポジウム講義の内容も素晴らしかったです。お疲れさまでした。ありがとうございます。
- 素晴らしい講演で企画でした。ありがとうございました。
- 人生の終末期への関わり・支援の大切さについて学ぶことができた。とても勉強になった。
- GWの時間がもっと欲しい。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 実際の事例など役に立つ情報がたくさんあり，参加できたことをありがたく思います。ありがとうございました。
- 看取りというものを，もっと一般的に浸透させるためにどうしたらいいのかが今後の課題と思う。
- 名札の書く欄をもう少し大きくしてほしい。皆さんの発表を聞いた後に質問を考える時間をもうけてほしい。
- 自分自身，義母のキーパーソンをしているが最期についての希望等の話をしたことがなく，どのように切り出したらよいか迷っているのが現状です。わかっていても実践するのは難しいですね。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 日頃，函館の病院に入院，通院される方が多いので，函館での現状が知れて良かったです。地元に戻って多職種にももっともっと連携について広めていきたいです。貴重な機会をありがとうございました。
- なかなかDNARを確認しておくことが難しいと思います。本人にDNARを確認すると「死」を意識させてしまうし，結果的に家族の意志が強くなってしまうような気がします。最近はエンディングノートや終活などがありますが，推奨していくことでどのような最期を迎えるかを考えられるようになるのではないでしょうか。
- 今回，初めて参加させていただきましたが，また参加したいと思いました。
- 本日は，多職種で看取りについて話し合うことができて有意義な時間を過ごすことができました。